

江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守る安心安全まちづくり活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

親子で考える自分と家族の健康

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

自分と家族の健康を常日頃から意識するため、日常的に体を動かす習慣づくりに向けた機運を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ヨガ指導者を招き、親子でヨガを体験する講習会を実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田東小学校

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

普段、運動をしていない母親と子供がヨガを体験したことにより、日常のちょっとした時間の中で、家族いっしょにヨガをすることにより軽運動に取り組むようになったとの声をいただいた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

身近に、初級者から経験者までヨガ指導できる人材がおり、その方からのオファーによりコミ協として試験的に実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

ヨガマットをコミ協で購入したことから、親子で実施するほか、これまで続けてきた「いきいき体操教室」でも、高齢者にもできるヨガを取り入れていきたい。



江南区 大江山コミュニティ協議会

活動名：講演会「あなたは大切な人 - 心をほぐすメッセージ -」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

自分を大切にしない子供たち、子育て、病気、人間関係などの悩みを抱えている人が増えてきている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

講演会を実施し、自己肯定力を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

小学校・中学校を通じてチラシを配布。自治会を通してチラシを回覧し、小学校高学年以上の地域住民80名の募集

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

丸山小学校、大淵小学校、大江山中学校、大江山青少年育成協議会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

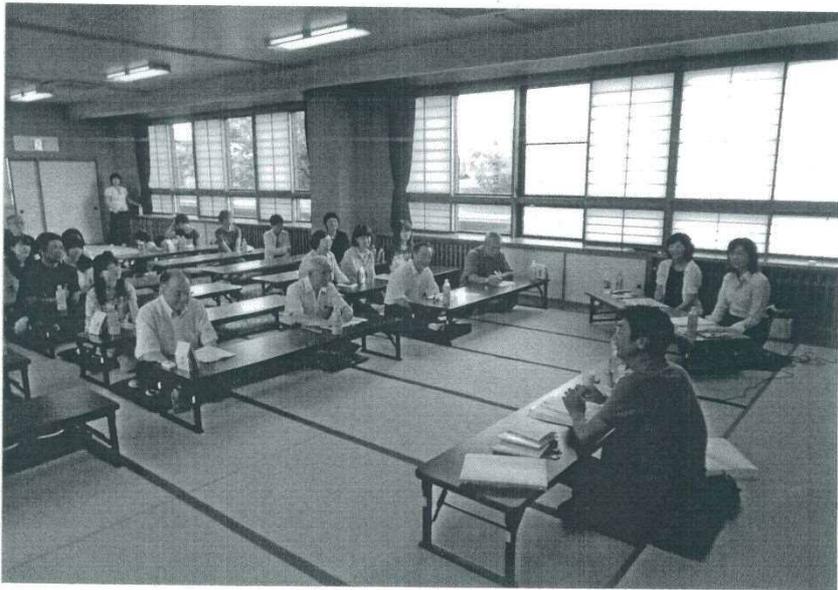
親子・友人・社会での人間関係の向上が図れた。また、自己肯定力が向上した。併せて他人を思いやる心の醸成に役立った。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地元（大江山地区）に講師（エッセイスト）が在住しており、快く引き受けてもらった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

参加者が予定した人数より少なかったため、周知方法を工夫していく。
大江山コミ協の教育分科部会を中心に、今後も関連事業で検討していきたい。



江南区 横越コミュニティ協議会

活動名：世代間交流&横越を考える集い

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

何らかの課題意識を持ちながらも、やや漠然としていたところから、「地域にどのような良い点、悪い点があるか」と問いかけることで各世代の問題意識や地域への思いなどの共通した部分を抽出し、各課題の重要性を意識することが大切である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

交通弱者への支援を強化していくという指向を持ちえた。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

より具体的な方途として、住民バスとしての「横バス」が充実するよう応援していく。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

横越小学校 横越中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各世代の基礎的な課題意識が分かり、毎年より具体的な課題に絞ってワークショップを展開していくことが可能となった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大勢の人の意見をまとめていくことに工夫を要した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

時代の変化に対応した形で各課題や、その対策を見出ししていくことで、より効果的な活動に繋げることができる。

江南区 亀田西小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれ愛 餅つき大会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミ協主催行事だけではマンネリ化し、組織の活性化や多世代交流が図れない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

コミ協とPTAが協働・連携した活動が必要なため、開催に向け実行委員会を設立した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

かつては各家庭や地域において、お正月などに餅つきを行っていたが、近年核家族化進み杵や臼を使った餅つきがお行われなくなったため、コミ協とPTAが連携して、昔ながらの餅つきを再現することで、組織の活性化と地域の多世代交流の場を提供した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田西小学校PTA ※コミ協の構成団体ではあるが、この事業に限り共催としている。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

PTAとの連携によって、児童やその家族の参加も増え、また地域の高齢者も昔の餅つきを懐かしみながら、子どもたちに餅つきの体験をさせるなど、多世代に渡る交流と、コミ協の活動をPTAにも理解してもらえた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

餅がつきあがるまでの時間、子どもたちを退屈させないように、小学校の教室も使い「凧づくり」「紙相撲」「折り紙」「キャラクターとの写真撮影」などの体験コーナーも設営した。また、地元の特産物「藤五郎梅」を使った梅ソースを作り、お餅にかけて提供した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後もPTAと連携・協働し、コミ協の通年行事としていきたい。

